

注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、平成 31 年度日本陸上競技連盟競技規則に則って実施するが、一部本競技会独自のルールを定めるので、以下注意事項をよく確認すること。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当核競技者以外の競技エリアへの立ち入りは禁止する。
- 2) 陸上競技場内での場所取りやテント張りは禁止とする。
- 3) 控え場所として、陸上競技場横ハンドボールコートは使用できない。
- 4) 校舎内に控え場所を設置することはできない。
- 5) 貴重品等の管理は各自で行なうこと。盗難等の被害については主催者は責任を負わない。
- 6) ゴミは各自で持ち帰ること。

3. ウォーミングアップについて

- 1) ウォーミングアップは、競技進行の妨げにならないよう競技場内を使用してもよいものとするが、競技役員の指示に従うこと。
- 2) 陸上競技場バックストレート側にある、陸上自衛隊船岡駐屯地との境界道路でのウォーミングアップは禁止とする。

4. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、登録番号が明記されたものを各自で準備すること。

5. 招集について

- 1) 招集は、すべて競技開始地点にて行なう。
- 2) リレー競技の招集は、第 1 コーナー付近にて行なう。
- 3) 各種目の招集開始時間及び招集完了時間は、競技日程記載のとおり行なうので、競技日程を確認すること。
- 4) 同時進行種目への出場競技者は、招集の際に競技役員に申し出ること。
- 5) リレー競技は、招集開始時刻の 30 分前までにオーダー用紙（大会本部に用意）を大会本部に提出すること。その際、プログラム記載のメンバーに登録されていなくても、リレー競技以外の種目に申し込んでいる競技者であれば、最大 2 名まで変更して出場することができる。

6. 棄権について

棄権する場合、招集開始時間の 30 分前までに棄権届（大会本部に用意）を大会本部に提出すること。

7. トラック競技について

各レースで不正スタートは 1 回のみとし、2 回目に不正スタートをした競技者は失格とする。

8. フィールド競技について

1) 試技数と持ち時間は以下の通りとする。

	試技数	持ち時間
走幅跳	3回	1分（走高跳、棒高跳の最後の一人は3分）
ほか	上位8名は6回	

2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習 ※以下のうち同じ高さを2回以内	バーの上げ方
走高跳	男	1m35、1m70、1m90	1m30から開始して5cmずつ 1m95から最後の一人になるまで3cmずつ
	女	1m20、1m45	1m20から開始して5cmずつ 1m45から最後の一人になるまで3cmずつ
棒高跳	男(1組) 女	1m50、2m10、3m00、3m50	1m50から開始して2m90まで20cmずつ それ以降は最後の一人になるまで10cmずつ
	男(2組)	4m00、4m40	4m00から開始して4m40まで20cm それ以降は最後の一人になるまで10cmずつ

3) 走高跳、棒高跳の最後の一人のバーの上げ方は、希望の高さを申告して決定する。

9. 競技用器具について

個人所有の投てき物（円盤、やり）を使用する場合、招集開始時間の30分前までに投てきピットにて検査を受けること。この場合、一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。投てき物の破損に関して、主催者は責任を負わない。

10. その他

- 1) 受付開始時刻は、両日とも 8:30とする。参加料領収書の希望者は受け取ること。なお、ペーパーレス化のためプログラムは配布しないので、必要な場合は受付にて販売する（1部300円）。
- 2) 仙台大学構内の駐車場には駐車することができないので、仙台大学サッカー場横の駐車場（仙台大学正門に向かって左に約600m）を利用すること。なお、近隣道路等への駐車は厳禁とする。
- 3) 競技会中の発病・負傷に対して、主催者は可能な範囲で処置は行いが、その後の責任は負わない。平成31年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員はスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。